

令和3年度から令和6年度
中学校において使用する教科用図書の
採択結果について

令和2年9月1日

出雲採択地区教科用図書採択協議会

出雲採択地区教科用図書採択協議会では、令和3年度から令和6年度に使用する中学校教科用図書について、2回の採択協議会を開催し、研究調査員による研究調査資料を参考に、採択の観点にしたがって、各発行者の検定合格図書を総合的に比較・検討しました。

採択結果等は、下記のとおりです。

記

I 令和3年度～令和6年度使用 中学校教科用図書の採択結果

種 目	発 行 者 名
国 語	東京書籍 株式会社
書 写	東京書籍 株式会社
社会（地理的分野）	株式会社 帝国書院
社会（歴史的分野）	東京書籍 株式会社
社会（公民的分野）	東京書籍 株式会社
地 図	株式会社 帝国書院
数 学	東京書籍 株式会社
理 科	東京書籍 株式会社
音 楽	株式会社 教育芸術社
美 術	日本文教出版 株式会社
保健体育	株式会社 学研教育みらい
技術家庭（技術分野）	東京書籍 株式会社
技術家庭（家庭分野）	東京書籍 株式会社
外 国 語	東京書籍 株式会社
特別の教科 道徳	日本文教出版 株式会社

II 採択の観点

【各教科（特別の教科 道徳を除く）】

- 1 記述された内容、程度が、生徒の発達の段階に適合しているか。また、分量が適切であるか。
- 2 取り上げられた教材の選択や構成は、学習を効果的に進めるために適切なものになっているか。
- 3 生徒が興味・関心をもって学習できるように工夫されているか。
- 4 各教科の特性が生かされ、地域の実態や課題に適合しているか。
- 5 各教科における資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫が盛り込まれているか。
- 6 その他、1～5の観点では表現できない特筆すべき事項

【特別の教科 道徳】

- 1 記述された内容、程度が、生徒の発達の段階に適合しているか。また、分量が適切であるか。
- 2 取り上げられた教材の選択や構成は、学習を効果的に進めるために適切なものになっているか。
- 3 生徒が興味・関心をもって学習できるように工夫されているか。
- 4 道徳科の特性が生かされ、地域の実態や課題に適合しているか。
- 5 各教科等における道徳教育との関連や実生活へ生かせる工夫が盛り込まれているか。
- 6 その他、1～5の観点では表現できない特筆すべき事項

Ⅲ 採択する教科用図書の特長

1 国語（東京書籍 株式会社）

(1) 内容、程度、分量等

- ①「本編」には、思考力等を養うのに適した多彩な教材が精選されている。「基礎編」には学習を深める言葉の力の重点が系統的に示され、「資料編」では、学習を深めたり広げたりする資料が充実している。
- ②巻頭・巻末に、教材と学習事項、言葉の力等の関連が一覧で示され、見通しやつながりを意識した学習ができるよう工夫されている。

(2) 教材の選択や構成等

- ①防災、国際理解、環境、情報等の今日的課題をテーマとした教材を採録するとともに、古典や伝統文化に関する教材を豊富な資料と併せて採録し、社会の課題や生き方について論理的・多面的に考えられるよう工夫されている。
- ②本編の「学びの扉」の内容を基礎編の「学びを支える言葉の力」で深め、他の学習に活用できるよう工夫されている。

(3) 興味・関心を高める工夫

- ①色漫画による「学びの扉」、美しい写真や絵図、物語仕立ての「日本語探検」等により、学びへの興味・関心が高まるよう随所で工夫されている。
- ②1年古典の導入で「浦島太郎」を取り上げて昔話と比較したり、「伊曾保物語」でギリシャの寓話集との関連を示したりするなど、古典学習への興味を引き出すために効果的な工夫がされている。

(4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等

- ①「私のタンポポ研究」「観察・分析して論じよう」等、文章と図表を関連づけて読んだり書いたりする学習により、論理的思考力を育成するよう工夫されている。
- ②361冊の多彩な読書案内や読書活動が示され豊かな読書生活を支える工夫がされている。
- ③思考ツールを使った学習等、メディアリテラシーや情報活用能力を育成する工夫がある。

(5) 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫

- ①「つながる・広がる」で、学習事項と生活場面とのつながりを示したり、リンクマークを使って書写・他教科との関連を示したりする等、生きて働く言語能力の育成に資する工夫がある。
- ②「広がる言葉」「言葉を広げよう」では、教材と関連させつつ多くの語彙を掲載し、思考や表現の幅を広げ、語感を磨き、語彙を豊かにできるよう工夫されている。

(6) その他

- ①Dマークコンテンツによって朗読・映像資料、練習問題等が利用でき、家庭学習において主体的に学べるよう工夫されている。
- ②オリジナルキャラクターを登場させ、生徒と同じ目線で問いかけや対話をすることで生徒の気づきを促し、意欲的に学べるよう工夫されている。

(7) 総括

- ①学習を「目標・問いかけ」「言葉の力」「振り返り」という統一した流れで構成するとともに、話

し合う活動を多く設けることで主体的・対話的で深い学びができるよう工夫されている点が、特に優れている。

②豊かな情操を育む作品や写真、生徒の学習意欲を高める工夫等が随所に施されている点が、特に優れている。

2 書写（東京書籍 株式会社）

(1) 内容、程度、分量等

- ①各学年の扉に3年間の書写学習の流れと該当学年の学習内容が分かりやすく示され、見直しをもって学習できるよう工夫されている。
- ②基本単元と活用単元「生活に広げよう」で構成され、巻末には「書写活用ブック」として、生涯にわたって活用できる実用的な知識や書式が網羅されている。

(2) 教材の選択や構成等

- ①1年生の冒頭に「小学校の学習を振り返ろう」を置き、3年生では高校の書道学習について紹介するなど、小中高の学びの接続を図っている。
- ②基本単元は、硬筆書写から課題を見つけ、「書写のかぎ」（学習ポイント）をふまえて学習事項を毛筆で確認した後、硬筆文字に応用し定着を図るという流れで構成され、主体的に学べるよう工夫されている。

(3) 興味・関心を高める工夫

- ①コラム「文字のいずみ」を設け、文字の歴史、書写の道具、手書き文字の良さなど、様々な事柄を取り上げて文字文化への興味を高め、その担い手としての自覚を促すよう工夫されている。
- ②学習を深める多様な情報が漫画や鮮明な写真とともに豊富に掲載され、興味・関心が高まるように工夫されている。

(4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等

- ①「生活にひろげよう」では、「職場訪問をしよう」等の教材を置き、書写の学習が体験や暮らしに生かせるようにするとともに、教科横断的な学習が展開できるよう工夫されている。
- ②「書き手の意図と表現」「思いを文字で表そう」等では、目的や意図に応じて効果的に文字を書く力の育成が図れるよう工夫されている。

(5) 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫

- ①「書写で学ぶこと」「仕事の中の手書き文字」等で、書写学習の意義を理解したり、仕事や将来の生活と自分を結び付けて考えたりできるよう工夫されている。
- ②リンクマークで国語や他教科等の学習に関連する内容が示され、書写の学びを他の学習や生活に生かせるよう工夫されている。

(6) その他

- ①人物やキャラクターの吹き出しを使って学習のポイントを分かりやすく示している。
- ②デジタルコンテンツでは、筆の動きや関連教科書の紙面等が視聴でき、授業や家庭学習に主体的に取り組めるよう工夫している。
- ③裏表紙に保護者へのメッセージを掲載している。

(7) 総括

- ①各単元が課題解決的な学習過程で構成され、実際の生活に結び付けた教材や思考・対話を重視した活動によって、書写の力をつけていけるよう工夫されている。
- ②古典や情報教育、社会生活等の幅広い観点から文字を扱っており、生涯にわたって主体的な文字の使い手となれるよう工夫されている点が、特に優れている。

3 社会【地理的分野】（株式会社 帝国書院）

(1) 内容、程度、分量等

- ①基礎的・基本的内容で簡潔にまとめられている。
- ②「技能をみがく」では地理の基礎的な技能が身に付けられるように、「資料活用」では資料に関する問いかけや作業内容が示され、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。(p. 5, 36)

(2) 教材の選択や構成等

- ①内容ごとに、「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」で、見通しをもつとともに振り返りができ、補足説明や「解説」で、学習を深めることができる。(p. 112, 113)
- ②単元末の「節の学習を振り返ろう」は、自分でまとめながら、段階に応じて思考力、判断力、表現力をつけることができる。(p. 250, 251)

(3) 興味・関心を高める工夫

- ①「地理プラス」「未来に向けて」で、学習に関連のある話題やテーマで学習への興味・関心を高めるよう配慮されている。(p. 197, 257)
- ②節の振り返りでは、最後に「私たちとの関わり」という視点で自分の生活に学習が活かせるような工夫がされている。(p. 185)

(4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等

- ①竹島の歴史的経緯から現在の状況までが本文に掲載され、「地理プラス」に隠岐の人々の願いや竹島の日について記述されている。また、位置と国境がわかる地図が掲載されている。(p. 20, 21)
- ②文化財と伝統文化を生かす取組として石見銀山、出雲大社、石見神楽が紹介されている。(p. 187, 198, 199)

(5) 資質・能力との関連や実生活へ活かせる工夫

- ①小学校や他分野との関連部分には、分野と内容がページ下部に示され、分かりやすくなっている。(p. 20)
- ②「声」「地域のあり方を考える」で、それぞれの地域の実社会の人々の具体的な話を取り上げ、学習内容を身近な問題としてとらえられるよう工夫されている。(p. 180, 252)

(6) その他

- ①動画サイト、コンテンツにつながる二次元コードが多く掲載され、学習を広げ深められるよう工夫されている。(p. 3, 13)

(7) 総括

- ①単元ごとの「問い」で知識・技能や思考力・判断力・表現力を身に付け、学習を自分の生活に生かすことができるように配慮されている点が、特に優れている。(p. 174, 184, 185)
- ②環境・防災・共生のテーマをコラムで特設し、現代的な諸課題を意識して学習できるよう工夫されている点が、特に優れている。(巻頭1, 2 p. 89, 91, 191)

4 社会【歴史的分野】（東京書籍 株式会社）

(1) 内容、程度、分量等

- ①見開き2ページの本文の周囲に、豊富な写真や資料がある。本文の行間はゆとりがあり、読みやすい内容である。
- ②写真や図表がわかりやすく配置され、「スキル・アップ」のコーナーでは、情報収集、読み取り、まとめの技能が習得できる構成になっている。(p. 37)

(2) 教材の選択や構成等

- ①各章の導入では、小学校の内容との関連が示され、章のまとめで学習内容と年表が完成できるように工夫されている。(p. 18, 58)
- ②小学校での学習を振り返り、各章や各節、各授業の学習課題を示して、段階に応じて単元をまとめることができるよう工夫されている。(p. 19, 59)

(3) 興味・関心を高める工夫

- ①特集ページ「資料から発見」では、絵巻物や屏風絵などの絵画資料から、その時代をとらえられるように工夫がされている。(p. 52, 53)
- ②コラム「もっと歴史」では、琉球やアイヌの文化について紹介し、興味・関心をもって文化の多様性を学べるように工夫されている。(p. 90, 91, 140, 141)

(4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等

- ①コラム「もっと歴史」では島根県と神話を取りあげ、出雲大社とともに出雲神話や佐陀神社について詳しく記述されている。(p. 54)
- ②竹島について「領土をめぐる問題の背景」では、写真や当時の地図を用いて、島根県への編入の経緯が記述されている。(p. 178, 180, 259)

(5) 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫

- ①「歴史にアクセス」や「もっと歴史」のコラムでは、伝統・平和・防災・人権などのマークが示され、関連を意識できるように工夫されている。(p. 87, 242, 274)
- ②他教科の学習とつながりの強い内容には「教科関連マーク」がついており、教科等横断的な視点で捉えられるよう工夫されている。(p. 15)

(6) その他

- ①二次元コードから時代ごとにまとめられたサイトにアクセスできる。
- ②「みんなでチャレンジ」では、対話的な活動によって多面的・多角的に考えられるよう、構成されている。(p. 191)

(7) 総括

- ①各単元を貫く問いである「研究課題」の解決にたどり着くまでの構成が整っており、理解しやすいものになっている。
- ②各分野や各教科との連携を意識した構成で、人権・平和問題など現在につながる事象について様々な視点からとらえる工夫されている点が、特に優れている。

5 社会【公民的分野】（東京書籍 株式会社）

- (1) 内容、程度、分量等
 - ①図表、写真等の資料が多く、資料の活用の視点が示されるなど、社会的事象について考えるための工夫がされている。(p. 12, 18, 19)
 - ②「スキルアップ」で公民学習をすすめる上での基礎的・基本的な技能の身につけ方が示され、各章の「まとめの活動」には複数の思考ツールを用いた整理方法が示されている。(p. 34, 35, 85, 101)
- (2) 教材の選択や構成等
 - ①各章ともはじめに単元の学習を貫く「探究課題」を設定し、節ごとの「探究のステップ」や、1時間の授業の「学習課題」を考えることを通して、「探究課題の解決」に迫る構成となっている。(p. 6, 7, 8, 32, 34, 35)
 - ②1時間の授業の最後にはチェック&トライで、また各章の最後には基礎基本のまとめで学習内容の定着を図る構成となっている。(p. 9, 33)
- (3) 興味・関心を高める工夫
 - ①各章の導入部では、現代社会の見方、考え方について触れるシミュレーション活動を通して章の探究課題につなげる工夫がされている。(p. 128, 129, 76, 77)
 - ②「公民にアクセス」や「もっと公民」では、学習内容の補充や深化を図ることができたり、異なる視点でとらえたりすることができる。(p. 16, 57, 171)
- (4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等
 - ①竹島問題について、特設ページにて、写真や新聞記事などをつけて、領土問題の経緯や我が国の外交努力に加え、島根県による「竹島の日」制定について記述されている。(p. 184)
 - ②成年年齢が18歳に引き下げられることに向けて、「18歳へのステップ」として選挙と契約について取りあげ、意識が高まるよう工夫されている。(p. 88, 89, 136, 137)
- (5) 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫
 - ①「みんなでチャレンジ」では、小グループでの対話的な活動が設定されており、生徒が多様な意見に触れながら、価値判断や意思決定をおこなうことができる。(p. 9)
 - ②終章では、社会の諸課題を解決するために「自分にできること」を提案するレポート作成をする活動が設定されており、生徒の社会参画を促すものとなっている。(p. 213~219)
- (6) その他
 - ①他分野(地理、歴史)との関連を示すことで、多面的・多角的に考察する力を育てられるよう工夫されている。(p. 10, 14)
 - ②二次元コードによって学習に役立つリンク集と繋がったり、シミュレーションなどが行えたりするよう工夫されている。(p. 5, 81)
- (7) 総括
 - ①各単元を貫く問いである「研究課題」の解決にたどり着くまでの構成が整っており、理解しやすいものになっている。
 - ②図表・写真などの資料が豊富で、また個人やグループで取り組む作業や活動が随所にあり、さらにそれらの内容もわかりやすく、技能や思考・判断・表現の力がつくよう工夫されている点が、特に優れている。

6 地図（株式会社 帝国書院）

(1) 内容、程度、分量等

①全188ページで、一回り大きなA版となり、大きな紙面で、縁取り文字を使用し、濃淡がはっきりした彩色で情報を読み取りやすい。各地域の特色が捉えやすい記述や資料、グラフなどが適切に配置されている。

②小学校で身に付けた技能を生かせるよう「地図の使い方」が具体的に示されている。(p.5~8)

(2) 教材の選択や構成等

①各地域の同一ページ内の資料図は同縮尺で示され、比較し、関連付けながら考察できるようになっている。(p.27,28)

②日本を扱うページは、一般地図、資料、図に続き、歴史、産業、防災学習等の課題追求するための資料が掲載されている。(p.107,108)

(3) 興味・関心を高める工夫

①立体的かつイラストを配した鳥瞰図により地域的な特色や人々の生活などをとらえやすいようになっている。(p.31,32,88)

②世界の生活・文化について、イラストや写真を豊富に用いて、違いが分かりやすいよう工夫されている。(p.15~18)

(4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等

①竹島の標高色別の拡大図や航空写真が国後島や尖閣諸島とともに掲載されている。また、日本固有の領土であることや韓国が不法に占拠していることの記述もある。(p.30,80,89)

(5) 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫

①防災・環境の資料が日本全ての地域の資料図に掲載され、身の回りの生活における防災意識や関心が高まるよう工夫されている。(p.108,149)

②世界のすべての地域の資料に「日本との結びつき」を取り上げ各地域と日本との関係について追究しやすいよう工夫されている。(p.44)

(6) その他

①「地図活用」のコーナーが複数設けてあり、具体的な問いにより地図や資料を読み取る視点が示されている。(p.49,105)

(7) 総括

①地図は大きく表示され、標高の高低差の配色が鮮やかで、違いがわかりやすく、見やすいため各地の特色が捉えやすい。(p.109)

②「地図活用」や「学習課題」コーナーを設け、授業でも家庭でも主体的に地図帳を活用できるよう工夫されている点が、特に優れている。(p.22,57,151)

7 数学（東京書籍 株式会社）

(1) 内容、程度、分量等

- ①1年には0章があり、算数で学習した内容を取り上げて、数学での学習の進め方、ノートの手作り方を示し、中学校の学習がスムーズに進められるよう配慮されている。（1年p.9～16）
- ②章末の問題には活用の問題が含まれ、また、巻末には補充問題があり、個に応じた取り組みができるよう工夫されている。（3年p.162～164, 248, 249）

(2) 教材の選択や構成等

- ①「文字と式」では、等式と不等式をまとめて扱っており、違いを意識しながら正しく理解できるよう工夫されている。（1年p.84, 85）
- ②「平行と合同」の導入では、多角形の角の和の説明から学習が始まっており、あることからもとに新しい性質を導くという筋道を立てて説明することに意識を向けさせる工夫がされている。（2年p.98～100）

(3) 興味・関心を高める工夫

- ①章の扉には、身近な場面がイラストで提示され、問いを投げかける吹き出しや章のめあても示されており、生徒の興味・関心を高め、主体的な学びになるよう工夫されている。（3年p.127）
- ②巻末の「数学の自由研究」では、自ら進んで考えたり調べたりする課題が載せてあり、興味・関心をもって思考・判断・表現できるように工夫されている。（2年p.199～208）

(4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等

- ①章に入る前に「大切にしたい数学の学び方」で、「深い学び」のページの学び方を具体的に示している。（全学年p.6, 7）
- ②巻末の章末問題の解答には「考え方」や「説明のポイント」などが書かれており、生徒が自分で学習を進めることができるよう工夫されている。（2年p.226）

(5) 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫

- ①「学びを広げよう」では、数学を社会で活用している人をインタビュー形式で紹介し、それに関わる課題を載せている。（1年p.182, 183）
- ②他教科と関連のある題材には、教科関連マークをつけ、教科のつながりが意識できるよう工夫されている。（1年p.109）

(6) その他

- ①巻末の「さくいん」では、数学用語の説明を、図を使って表している。（2年p.237, 238）
- ②各章に、めあてとなるタイトルをつけ、生徒が見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。（1年p.113）

(7) 総括

- ①活用問題を取り扱う節では導入時に問題発見・解決の過程を重視した数学的活動を例示し、主体的・対話的で深い学びとなるよう工夫されている。（2年p.83, 84）
- ②章末の活用の問題は、写真を取り入れて提示し、日常生活との関連を意識しやすいよう工夫されている。（3年p.208）
- ③丁寧な記述や単元をとおした課題設定など、生徒が自分で学習を進められる点が、特に優れている。

8 理科（東京書籍 株式会社）

(1) 内容、程度、分量等

①分量は、1年105時間分、2年140時間分、3年140時間分となっている。発展的な学習内容の記述は、1年3.75頁分、2年12.75頁分、3年17.25頁分となっており、標準授業時数に適切に対応するとともに、課題が掴みやすくなるよう工夫がされている。

②発展的な学習内容にマークがされており、必修の内容との区別が明確になるよう工夫されている。

(2) 教材の選択や構成等

①見開き2ページごとに授業1時間となるよう構成されており、生徒が見通しをもった学習ができるよう工夫されている。

②章の始めと終わりに「Before&After」があり、見通しをもって学習に取り組んだり、振り返りができたりするよう工夫されている。

(3) 興味・関心を高める工夫

①節の導入に、身のまわりの事象の中から生徒が課題を発見する場面が設けられており、生徒の興味・関心を高め、主体的に学習できるよう工夫されている。（1年p.156）

②科学史のコラムや単元末の科学読み物紹介があり、生徒の興味・関心が高まるよう工夫されている。（2年p.29）

(4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等

①探究のプロセスと自分が行う言語活動が示されており、生徒が主体的に探究的な学習に取り組めるよう工夫されている。（1年p.2～4, 152～155）

②隠岐ジオパークと山陰海岸ジオパーク（1年巻末）、雲南市のたたら製鉄（2年p.61）、安来市の和鋼博物館（2年p.306）など、島根県の自然や校外施設が紹介されている。

(5) 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫

①学習している内容と関連の深い他教科の学習内容が明示されており、深い理解につながるよう工夫されている。（3年p.150）

②コラム「つながる科学」により、学習内容と日常生活や社会との関連が分かるよう工夫されている。（3年p.81）

(6) その他

①デジタルコンテンツが多く用意され、シミュレーションによりイメージがしにくい生徒のつまづきを解消できるよう工夫されている。（1年p.161）

(7) 総括

①A4スリム判の紙面1ページに探究の流れ（課題や仮説）が収まることで、探究の流れや目的意識をもって観察・実験ができるよう工夫されている点が、特に優れている。

9 音楽（株式会社 教育芸術社）

(1) 内容、程度、分量等

- ①「深めよう！音楽」として、活動の流れや思考を促すヒント、表現へのつなぎ等の内容が示され、活動を深めることができるよう工夫されている。（一般）
- ②取り扱う楽曲の難易度や分量が適切である。（一般）
- ③「演奏の仕方を身につけよう」では、基礎的な奏法の習得のための解説が写真やイラストを用いて丁寧にされている。（器楽）

(2) 教材の選択や構成等

- ①歌唱、創作、鑑賞の3分野の教材を幅広いジャンルから選択できるように、教材配列が工夫されている。（一般）
- ②テーマごとに楽曲が配置され、学び易いように工夫されている。また、学年にふさわしい選曲がなされている。（一般）
- ③各楽器の導入に、慣れ親しんだ楽曲が使われているため、取り組みやすい。（器楽）
- ④基礎的な技術が段階的に学べるよう、教材の配列が工夫されている。（器楽）

(3) 興味・関心を高める工夫

- ①教科書の中に使われている写真や絵が美しく、臨場感にあふれ、生徒の興味・関心を高めたり、豊かな感情を育てたりすることができるように工夫されている。（一般）
- ②表紙や挿絵のイラストの質が高く、生徒の興味を引くように工夫されている。（一般）
- ③教科書（一般）で学んだ楽曲や身近な楽曲が器楽演奏用に編曲されており、生徒が親しみをもって取り組むことができるように工夫されている。（器楽）
- ④生徒の興味・関心が高まるように、見やすいレイアウトや色づかいへの工夫が見られる。（器楽）

(4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等

- ①「ふるさと」は、学年に応じた音域で全校合唱ができ、学校の実態に応じて活用できるよう配慮されている。（一般）
- ②「歌い継ごう日本の歌」「心通う合唱」には、学年に応じた音域での合唱ができる曲が幅広く掲載されている。（一般）
- ③「郷土の祭りや芸能」として、裏表紙に出雲神楽の写真が掲載され、地域の音楽文化を大切に育むことができるように工夫されている。（一般）
- ④「アンサンブル」「楽器で Melody」では、鑑賞教材や身近な楽曲が取り上げられており、合奏を通して表現の楽しさを学ぶことができるよう工夫されている。（器楽）

(5) 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫

- ①「生活と社会の中の音楽」では、音楽の役割や音楽に関わる仕事、SDG s の取組が紹介され、総合的な学習の時間等との関連を図ることができるように工夫されている。（一般）
- ②「社会を映し出す音楽」が掲載されており、教科横断的な学びができるように工夫されている。（一般）
- ③「アンサンブルセミナー」では、アーティキュレーションの工夫やパートの役割、曲の構成など表現の工夫における視点が示されており、創意工夫しながら音楽表現を深めていくことができるよう配慮されている。（器楽）

(6) その他

- ①「My Melody」「Let's Create」では、生徒が意欲をもって取り組みやすいような工夫が随所になされている。(一般)
- ②様々な種類の打楽器の基本的な奏法が写真とともにわかりやすくまとめられている。(器楽)
- ③目次が見やすく、教科書(一般)と同様に、「中学生の器楽の学習内容」についても掲載されている。(器楽)

(7) 総括

- ①教科書全般にわたって、学校現場の実情に即した教材や実践例が豊富に取り上げられている。また、内容がシンプルで分かりやすく、3年間の系統性も明確である点が、優れている。(一般)
- ②比較的平易な楽曲が取り上げられており、内容もシンプルで分かりやすく、段階的に資質・能力を高めることができるよう工夫されている。(器楽)
- ③「中学生の器楽の学習内容」がまとめられ、音楽科で身につける資質・能力と、その学習の支えとなる音楽を形づくっている要素との関連が示されている点が、優れている。(器楽)

10 美術（日本文教出版 株式会社）

(1) 内容、程度、分量等

- ①生徒の成長に寄り添うように3分冊で構成され、ページ数が増えることでより多くの資料が活用できる。
- ②見開きページ（1年 p.20, 21、2・3年下 p.14, 15）を活用し、作品のダイナミックさが伝わる内容となっている。
- ③学習のねらいが新学習指導要領の観点ごとにマーク付きで示されている。

(2) 教材の選択や構成等

- ①原寸大で鑑賞できる資料には「原寸大」の表示（2・3年上 p.23、2・3年下 p.24等）があり、実物の大きさが体感できるよさがある。
- ②巻末に学習を支える豊富な資料のページがあり、学習の視点や技法、補助教材、写真資料として活用できる工夫のある構成となっている。（1年 p.68, 69）

(3) 興味・関心を高める工夫

- ①中1ギャップの解消（小学校図画工作から中学校美術への名称変更に伴う移行について）は、時系列に沿った提示の工夫がされてる。（1年 p.6, 7）
- 生徒の興味・関心を喚起するタイトルとサブタイトルが示され、生徒がイメージしやすい工夫がされている。

(4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等

- ①表現・鑑賞活動に関する資料が豊富である。
- ②全都道府県の伝統工芸品等様々な作品が掲載されており、生徒が自分たちの住む地域に関心を持つよう工夫されている。
- ③「祭りを彩る造形」（1年 p.51）の学習では、本県津和野町の鷲舞神事が掲載されている。

(5) 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫

- ①美術が教科学習にとどまらず、従来は取り扱われなかった祭りや都市デザインに焦点をあてている。
- ②「社会に生きる美術の力」（2・3年下 p.58, 59）として、現代社会における美術の可能性が、活躍する人物紹介を通して示されている。

(6) その他

- ①QRコードが付加されており、関連情報の入手が容易になっている。
- ②巻頭の見開きページで教科書の活用の仕方について写真やマークが示されることで、生徒が主体的に教科書を活用できる工夫がされている。

(7) 総括

- ①A4ワイド判かつ3分冊により、多彩な美術作品が掲載されており、より優れている。なお、見開きページを活用した作品のダイナミックさの伝わる構成が見られる点が、特に優れている。
- ②現代社会の今日的な課題であるSDGsや、社会に生きる美術の力を取り上げることで、美術の可能性について示されている点が、特に優れている。

1 1 保健体育（株式会社 学研教育みらい）

(1) 内容、程度、分量等

- ①基本的な学習内容が精選され妥当な分量である。
- ②小口の色分けインデックスにより、各学年、体育編、保健編が分かれ、視覚的にもとらえやすく、3年間の見通しがもてるよう工夫されている。
- ③各章冒頭に学習内容に関連した写真を掲載し、学習内容に見通しをもちやすい工夫がなされている。(p. 14, 15)

(2) 教材の選択や構成等

- ①冒頭に「学習の目標」とキーワードが設けられており、興味・関心と見通しをもって学習できるよう工夫されている。(p. 16)
- ②章末の「章のまとめ」では「振り返ろう・確かめよう・生かそう」により、学習の振り返りと深まりを補充している。また、直接記入できるよう工夫されている。(p. 25)

(3) 興味・関心を高める工夫

- ①各章に関連する「ひと」（最前線を知る）(p. 15) 等で人物の名言、言葉、紹介を掲載し、学習内容との関連が実感できる。
- ②「課題をつかむ」で書き込みができ、授業に入りやすい工夫がしてなされている。(p. 28)
- ③キャラクターの吹き出しや、各ページの「情報サプリ」により興味・関心を高める工夫がなされている。(p. 16)

(4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等

- ①章末の「探求しようよ！」の配置で、学習内容の掘り下げや、発展的に学習ができる工夫がされている。(p. 22)
- ②性的マイノリティに関する話題がコメントと説明入りで掲載されている。(p. 43)
- ③個人の努力と社会的な取組が必要という、ヘルスプロモーションの視点を取り上げている。(p. 29)

(5) 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫

- ①授業の終末には「まとめる・深める」があり、言語活動としての話し合いや発表、協働としての教え合い、学び合い活動ができるようにされており、学習のまとめと深まりができるとともに、実生活への活用が意識できるよう工夫されている。(p. 19)
- ②ストレスへの対処について、体験的に身に付ける演習が用意されている。(p. 63, 64)

(6) その他

- ①各章の最初に「小学校で学習したこと」、「高校で学習すること」が記載され、中学校の学習の流れが理解できるよう工夫されている。(p. 14, 16)
- ②「教科書サイト」の利用で、詳しく、深い学びができるよう工夫されている。(p. 10, 24)
- ③新体力テストの説明のほか、記録が記入できる。(p. 194)

(7) 総括

- ①教科書に直接記入できたり、問題もあったりするとともに、保健編の時間を少なめに設定することによって、重点的な内容について複数時間扱えるなど、各校の実態に応じて学習の計画が立て

やすいように工夫がされている。(p.0 もくじ)

②中学生の保健体育の学習理解を促進させるよう工夫されている点が、特に優れている。

1 2 技術・家庭【技術分野】（東京書籍 株式会社）

- (1) 内容、程度、分量等
 - ①知識、技能についての情報が全体的に多く記載されており、学習の深まりにつながるよう工夫されている。(p. 24, 25)
 - ②巻頭に問題解決に向けてのプロセス(PDCA サイクル)が具体的にかかれており、学習の仕方や見方・考え方についてまとめている。(p. 2~17)
- (2) 教材の選択や構成等
 - ①設計、計画の例示が具体的で、参考にしやすくなっている。(p. 118~125)
 - ②各内容ごとに問題解決の評価、改善・修正についての項目があり、チェックが具体的にしやすいよう工夫されている。(p. 76, 77)
- (3) 興味・関心を高める工夫
 - ①各ページの下欄外に技術の工夫としてコラムが記載されている。(p. 214)
 - ②巻末に学んだことを社会に生かす例示やコメントが記載されている。(p. 274, 275)
- (4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等
 - ①新しい技術についての記載例が豊富である。(p. 198, 199, 260, 261)
 - ②問題を発見し、課題を設定する内容が充実している。(p. 38, 39)
 - ③実習中に安全に作業するための注意点がわかりやすく記載されている。(p. 54)
- (5) 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫
 - ①学習のまとめが内容の章末にあり、資質・能力の確認ができるよう工夫されている。(p. 86, 87)
 - ②実生活と学習をつなげる「社会の発展と技術」についての記載が充実している。(p. 252~256)
- (6) その他
 - ①調べやすいように爪が設けられている。
 - ②各内容の最初に他教科とのつながりが記載されている。(p. 138)
 - ③二次元コードが内容ごとにあり、ネットで動画が視聴できるようになっている。(p. 139)
- (7) 総括
 - ①巻頭の問題解決のプロセスや内容ごとに評価、改善・修正ページがあり、問題解決学習にかかわる内容の記載が充実している。
 - ②新しい技術や実生活へのかかわりも明確に示しているため、興味・関心が高まるとともに、情報量が多い点が、特に優れている。

1 3 技術・家庭【家庭分野】（東京書籍 株式会社）

(1) 内容、程度、分量等

- ①内容は、B「衣食住の生活」C「消費生活・環境」A「家族・家庭生活」の順番となっており、学習指導要領の順と異なる構成となっている。
- ②基礎的・基本的な知識及び技術について詳しく示されており、生徒が習得しやすい内容・分量になっている。

(2) 教材の選択や構成等

- ①中学生にとっては身近で発達段階に応じた教材を多くの資料を使って見開きに掲載するなど見やすく紹介されている。(p. 142～153)
- ②章末の「まとめよう」「生活に生かそう」には、目標に対して学習のゴールが示され、目標に沿った学習内容ごとにまとめができるようになっている。(p. 23 など)

(3) 興味・関心を高める工夫

- ①作業の説明において、写真・図が大きいうえ、作業順が横に並べてあり分かり易い。また、失敗例も掲載されており、作業に対する意欲付けが工夫されている。(p. 128, 129)
- ②「プロに聞く！」のコラムや巻末資料「学んだことを社会に生かす」を設け、学習内容と社会との関連が意識できるようにされている。(p. 29 など, p. 282, 283)

(4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等

- ①学習初めのガイダンスとして、イラストやチェック表を使用し、学習内容と実生活の関連性をわかりやすく明確に示している。(p. 6～17)
- ②「地域の食材」では、しじみが掲載されていて地域性がある。(p. 91)

(5) 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫

- ①調理実習において、「かんたんもう1品」では大きな写真を使用し、実生活の場面でさらに応用できるヒントが掲載されている。(P. 69)
- ②巻末に「防災・減災手帳」がついており、とりはずして学習後も日常生活において活用しやすいよう工夫されている。

(6) その他

- ①二次元コードは、各編の導入ページに掲載され、インターネットを活用して学習が進められるよう工夫されている。(p. 107 など)
- ②多くのページの欄外に「せいかつメモ」があり、知識が生活に生かされるよう工夫されている。(p. 22 など)

(7) 総括

- ①自立に必要な基礎的・基本的な事項が身につくように、実習場面では「これだけはできるようになろう！」としてチェックリストが掲載されている。(p. 67 など)
- ②「生活の課題と実践」では、さまざまな成果物や発表例が示され、生徒が見通しをもって、まとめることができるよう工夫されている(p. 272)などが特に優れている。

1 4 外国語（東京書籍 株式会社）

(1) 内容、程度、分量等

- ①学年に応じ、計8つの読み物教材があり、図表と合わせて必要な情報を読みとるものや、人物の心情を読みとるものなど、目的に応じた読み方が指導できるように工夫されている。
- ②イラストや本文の練習問題などが、A3サイズの大きな紙面で見やすくなっている。

(2) 教材の選択や構成等

- ①4技能を使いながら、段階的に新出表現を習得する単元と、学んだことを活かして複数の技能を総合的に活用し表現する Stage Activity から構成されており、生徒が取り組みやすくなるよう工夫されている。
- ②1年生の教科書では、小学校の内容を復習しながら中学校の学習へとつなぐ工夫がされている。

(3) 興味・関心を高める工夫

- ①題材に現在の社会に大きな影響を及ぼした偉人の直筆メッセージやスピーチの要約等を取り上げ、生徒の興味・関心を高める内容となっている。
- ②学習した題材に関連する情報紹介が随所にあり、生徒が文化や歴史、社会問題等にも目を向けられるよう工夫されている。

(4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等

- ①各ページの新出語句の下に小学校の学習でふれた単語が掲載されるとともに、巻末には一覧表もあり、小中の学びの接続に配慮されている。
- ②各学年の「学び方コーナー」で単語の覚え方や英語学習法に関するアドバイスが掲載されており、生徒が自ら学習を進めることが出来るよう工夫されている。

(5) 資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫

- ①家庭科、理科、社会科の知識を利用して取り組む「Learning ~ in English」や俳句をテーマとした単元を設定するなど、教科横断的な学びができるよう工夫してある。
- ②目的や場面に合わせて各技能を活用する Let's シリーズで、日常生活に即した英語表現の習得ができるよう工夫されている。

(6) その他

- ①各単元の Preview では、コミュニケーションの目的、状況を確認できるよう工夫されている。
- ②第2線と第3線の幅をやや広げて、文字の書きやすさに配慮されている。

(7) 総括

- ①4技能5領域を統合的に扱い、学習の定着を図るための丁寧な指示や例があり、生徒が取り組みやすくなるよう工夫されている点が、特に優れている。
- ②小学校で学んだ単語の掲載及び高等学校との目標のつながりや、他教科と関連付けた内容など、多岐にわたり配慮されている点が、特に優れている。

1 5 特別の教科 道徳（日本文教出版 株式会社）

(1) 内容、程度、分量等

①巻頭のオリエンテーションのページには、道徳科の学習意義や内容、学び方やテーマが掲載され、授業の流れや1年間の見通しが捉えやすいように工夫されている。

②1年生では、絵や漫画、イラストを交え、理解しやすい教材となっている。

(2) 教材の選択や構成等

①教材の配列が、「個人の目標」や「いじめの問題」から、「友情や集団生活」、「よりよい社会や将来の自分を考える」など、個人から社会へと思考が広がるよう工夫されている。

②1年間の学校行事や生徒の発達段階を踏まえて、適切な時期に適切な教材を扱うことができるように構成されている。

(3) 興味・関心を高める工夫

①「プラットフォーム」「参考」「私の生き方」というコラムが適宜配置され、興味・関心を引くとともに、教材の理解を助けるものになっている。

②「命について」「先人の伝記」「スポーツ」「情報化への対応」「いじめの問題」など、恒久的なテーマから現代的な課題など、多様な資料で生徒の興味・関心を引く工夫が見られる。

(4) 教科の特性、地域の実態や課題への適合等

①複数の教材とコラムを組合わせたユニット『『いじめ』と向き合う』が年間に複数配置され、差別をなくし、平等・思いやりの精神を培えるよう集中的かつ継続的に考えられるよう工夫されている。

②「話し合い活動」のページが複数あり、生徒同士で考え、議論する道徳のイメージがわかりやすく、実践しやすいものとなっている。

(5) 各教科における道徳教育との関連や実生活へ生かせる工夫

①ジェンダーについて1ページを割いて学ぶところがあり、他者理解など、今日的な課題に対応している。（3年 p.101）

②全学年に「よりよい社会と私たち」というテーマでの複数の教材があり、実社会で生きて働く「社会力」を育めるようになっている。

(6) その他

①教材名の上に主題名が、教材名の下に登場人物の写真や絵が掲載され、学習の見通しをもたせ、興味・関心を高める工夫が見られる。

②「道徳ノート」には、友達の意見を書く欄があり、他者の意見を参考にしながら多面的・多角的に考えられるようになっている。

(7) 総括

①「別冊「道徳ノート」は教科書本冊に対応しており、発問や自分の考え、振り返りの記入欄があり、1ページに1時間の学びを記録するようになっている。

②各教材末にある「自分に+1」でそれぞれの価値項目について自分ごととして考えられるよう工夫されている点が、特に優れている。

IV 令和3年度～令和6年度使用 中学校教科用図書見本送付一覧

科目	発行者	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	計
		東京書籍(株)	大日本図書(株)	教育図書(株)	開隆堂出版(株)	学校図書(株)	(株)三省堂	教育出版(株)	(株)教育芸術社	光村図書出版(株)	(株)帝国書院	(株)大修館書店	(株)新興出版社啓林館	(株)山川出版社	教研出版(株)	日本文教出版(株)	(株)学研教育みらい	(株)自由社	(株)育鵬社	(株)学び舎	廣済堂あかつき(株)	日本教科書(株)	
国語	国語	○					○	○		○													4
	書写	○					○	○		○													4
社会	地理	○						○			○					○							4
	歴史	○						○			○			○		○			○	●			7
	公民	○						○			○					○		○	○				6
	地図	○									○												2
数学	数学	○	○			○		○					○		○	○							7
理科	理科	○	○			○		○					○								○		5
音楽	音楽(一般)							○	○														2
	音楽(器楽合奏)							○	○														2
美術	美術				○					○						○							3
保健体育	保健体育	○	○										○				○						4
技術・家庭	技術	○		○	○																		3
	家庭	○		○	○																		3
外国語	英語	○			○		○	○		○			○										6
道徳	道徳	○						○		○						○	○				○	●	7
計		13	3	2	4	2	3	11	2	5	4	1	3	1	1	6	2	1	2	1	1	1	69

○送付のあったもの

●送付のなかったもの

V 出雲採択地区教科用図書採択協議会委員名簿

市町名	委員氏名	備考
出雲市	河上 史子	出雲市教育政策審議会 委員
出雲市	杉谷 学	出雲市教育委員会 教育長
雲南市	鳥谷 健二	雲南市PTA連合会 会長
雲南市	景山 明	雲南市教育委員会 教育長
奥出雲町	藤原 寿成	奥出雲町PTA連合会 会長
奥出雲町	塔村 俊介	奥出雲町教育委員会 教育長（～R2.5.24）
飯南町	長島 淳二	飯南町PTA連合会 副会長
飯南町	矢飼 斉	飯南町教育委員会 教育長

VI 採択協議会開催状況

採択協議会	開催日	会場	協議内容等
第1回	令和2年5月13日	出雲市役所 会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・会長、職務代理者の選出 ・採択日程（案）の承認 ・令和2年度予算（案）の承認 ・令和3年度使用中学校教科用図書の採択にあたっての「採択の観点」の検討
第2回	平成2年7月15日	出雲市役所 会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度使用中学校教科用図書の採択

出雲採択地区教科用図書採択協議会規約

(名 称)

第1条 本協議会は、出雲採択地区教科用図書採択協議会（以下「協議会」という。）と称する。

(目 的)

第2条 この規約は、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律（昭和38年法律第182号）第13条第4項の規定に基づき、出雲採択地区内の市町立の小学校及び中学校において使用する教科用図書の採択に係る協議を行う協議会に関し、必要なことを定める。

(協議会を設ける市町の教育委員会)

第3条 協議会は、次に掲げる市町の教育委員会（以下「関係市町教育委員会」という。）が、これを設ける。

- (1) 出雲市教育委員会
- (2) 雲南市教育委員会
- (3) 奥出雲町教育委員会
- (4) 飯南町教育委員会

(組 織)

第4条 協議会の委員は、委員8名をもって組織する。

(委 員)

第5条 委員は次に掲げる者をもって充てる。

- (1) 関係市町教育委員会の教育長
- (2) 関係市町教育委員会から推薦された保護者等代表者それぞれ1名
- 2 委員の任期は、1年とする。但し、任期の途中で委員が交代した場合における後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会 長)

第6条 会長は、関係市町教育委員会が協議して定めた市町教育委員会の教育長である委員をもって充てる。

- 2 会長の任期は、1年とする。但し、任期の途中で会長が交代した場合における後任の会長の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長の職務代理)

第7条 会長は、会長に事故があるときにその職務を代理する委員をあらかじめ指名する。

(庶 務)

第8条 協議会の庶務は、会長が所属する教育委員会において処理する。

(会議の招集)

第9条 協議会の会議は、会長が招集する。

- 2 委員2人以上の者から会議の招集の請求があるときは、会長はこれを招集しなければならない。
- 3 会議開催の場所及び日時は、会議に付議すべき案件とともに、会長があらかじめこれを委員に通知しなければならない。

(会議の運営)

- 第10条 協議会の会議は、委員の過半数かつ会長及び会長が所属する教育委員会を除く関係市町教育委員会に所属する委員それぞれ1名以上が出席しなければ、開くことができない。
- 2 会長は、協議会の会議の議長となる。
 - 3 協議会の会議の議事その他会議の運営に関し、必要な事項は協議会の会議で定める。

(教科用図書の選定の方法)

- 第11条 教科用図書の選定は、第13条第2項の報告及び島根県教育委員会が作成した選定資料を参酌して協議会の会議において協議を行い、教科の種目ごとに、委員全員の一致によって決する。
- 2 前項の協議が調わない種目があるときは、委員は、当該種目についてそれぞれ選定すべきと考える教科用図書に投票を行い、過半数の投票を得た教科用図書を選定する。
 - 3 前項の場合において、過半数の投票を得た教科用図書がないときは、最多数の投票を得た2種類の教科用図書について投票を行い、多数を得た教科用図書を選定する。
 - 4 前項の場合において、投票を行うべき2種類の教科用図書及び選定する教科用図書を定めるに当たり得票数が同じときは、協議の経過を勘案し、会長がこれを決する。

(選定した教科用図書の通知)

- 第12条 前条の規定により教科用図書を選定したときは、会長は、遅滞なく関係市町教育委員会に対して、選定した教科用図書の種類及び当該教科用図書を選定した理由を通知するものとする。

(研究調査員)

- 第13条 協議会に、教科用図書の選定に必要な教科用図書の調査研究を行うため、研究調査員を教科の種目ごとにおく。
- 2 研究調査員は、見本の通知があった全ての教科用図書の調査研究を行い、種目ごとに調査研究の結果を取りまとめた資料を作成し、協議会の会議に報告する。

(議事録及び資料の公表)

- 第14条 協議会の会議の議事録及び前条第2項の資料については、関係市町教育委員会において、教科用図書を採択した後、遅滞なく公表する。

(経費の支弁方法)

- 第15条 協議会に要する経費は、各関係市町の協議により決定した額について、各市町が負担する。

(委 任)

- 第16条 この規約に定めるもののほかは、協議会の組織及び運営に関して必要な事項は会長が別に定める。

附 則

- 1 この規約は、平成27年4月1日から施行する。